

清掃廃液から電気を生み出す
株式会社グンビル

株式会社グンビル

伊勢崎市



- ▶ 代表者: 高野 こずえ
- ▶ 設立年月日: 1982年8月
- ▶ 資本金: 1,000万円
- ▶ 従業員数: 98人
- ▶ 住所: 伊勢崎市ひろせ町4088-12
- ▶ TEL: 0270-23-2124
- ▶ Mail: gunbiru@gunbiru.co.jp
- ▶ URL: http://www.gunbiru.co.jp/

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

当社は、「顧客のために、清掃を通じて住みよい環境をつくる。」を経営理念としてビルメンテナンス業を中心に業務を営んでいます。主な業務内容は以下のとおりで、産業廃棄物処分のかたわら、新規事業として清掃廃液処理の装置を開発しています。

- ・事務所や工場の日常清掃業務、設備点検業務
- ・定期清掃業務（床表面洗浄ワックス、カーペットクリーニング、ガラスクリーニング、換気扇、エアコンフィルター清掃等）
- ・特別清掃業務（エアコン分解洗浄、椅子クリーニング、ダクト清掃等）

経緯・背景

90年代半ば頃、客先からの度重なる値引き交渉を経験し、「ビルメンテナンスの技術屋」になろうという思いから、各研究開発がスタートしました。当初は、石材の研磨やコーティングからカーペットスチームクリーニング等新しい技術を取り入れていきましたが、お金で買える技術は、年月とともに同業者に普及し、価格競争の波にもまれる一方で、その中のひとつに「床ワックス剥離廃液処理」があり、年数をかけて処理技術の開発を押し進めてきました。そして廃液の処理技術は、幅が広がりエアコン洗浄廃液や厨房洗浄廃液も処理できるように改良しました。

具体的な取組

1 人と地球環境に配慮した清掃

2021年2月2日 エコマーク「清掃サービス」申請中
清掃資機材、管理体制、清掃に伴って排出される廃液の適正処理
エコマーク基準で清掃業務を提供する準備を行っています。

2 床ワックス剥離廃液の処理(廃液の産廃処理)

グリーン購入法やエコマークで推奨されている処理方法(グリーン購入ネットワーク「エコねっと掲載」)

処理の特徴

1. 環境負荷の低減
河川放流基準クリア/大気排出基準クリア
2. 焼却処理と比較した場合CO₂削減60%
(全国中小企業団体中央会調べ)
3. 清掃廃液から電気を生み出します
処理に伴って排出されるポリマーと残渣は固形燃料(RPF)になります。

3 廃液処理システム『ライブ・プロジェクト』

処理装置は、6つの特許を取得

群馬県、伊勢崎市の補助金により開発された装置
省スペース、かんたん操作

成果・効果

当社がSDGsを知ったのは、2019年環境省による環境配慮契約法の説明会がきっかけです。添付資料にSDGsのロゴがあり調べたところ、多くの企業が推進されており、当社のなかにもどのようにマッチングできるかを検討しました。

当社は建物の清掃から排出される廃棄物をすべて適正処理できるよう開発を進めていくことで、持続可能な社会に貢献できるものと考えます。

SDGsを地域社会に広めていくとともに、持続可能な地域社会に貢献する企業を真摯に目指していきます。

当社にとってのSDGsと、その展望

地域の皆さんへSDGsの輪を広げる活動として2019年に「SDGsをみんなで学ぼう」体験イベントを開催しました。イベントでは、日本環境協会教育事業部の大西亮真部長による「子供のためのSDGs講演」や前橋総合技術ビジネス専門学校の小島昭校長による「科学で楽しく遊ぼう」をテーマにサイエンスマジックショーを行いました。

今後も地域の皆さんとSDGsを学び、取組を進めていきたいと考えています。

